

# 令和2年度忠岡町下水道事業決算のあらまし

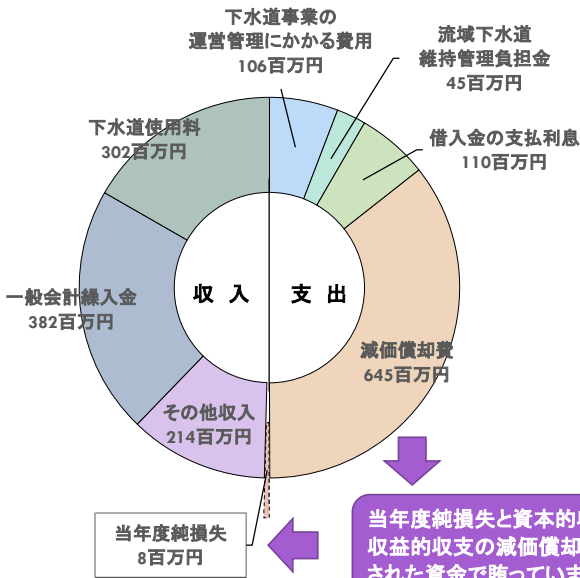
忠岡町の下水道事業は、安定した経営を行うための経営基盤の強化に向け、経営状況を客観的かつ明確に把握するため、令和2年度から公営企業会計に移行しています。

令和2年度忠岡町下水道事業は、汚水処理区域面積280.4ha、年間有収水量2,085,062m<sup>3</sup>となり、行政人口に対する下水道の普及率は97.2%で、汚水処理区域内の接続率は90.5%となっています。

また、建設工事については、下水道管布設工事と雨水ポンプ場の長寿命化工事を行い、汚水処理未普及地区の解消や雨水浸水対策、雨水ポンプ場の老朽化対策に努めています。

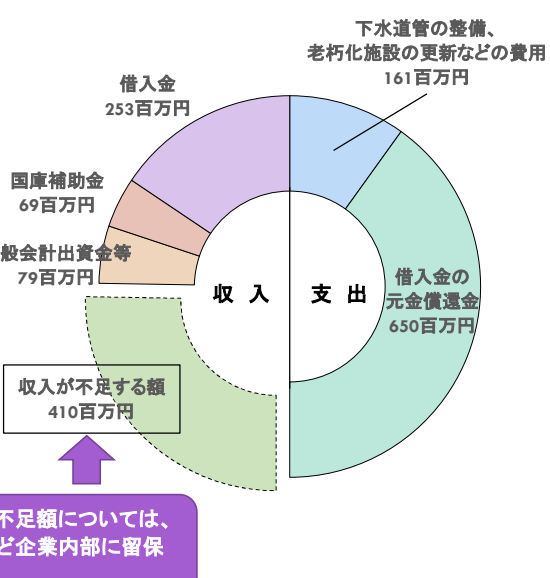
## 収益的収支（税抜き）

1事業年度でどのくらいの利益がでたのか（純利益）、あるいは損をしたのか（純損失）を知るための収支



## 資本的収支（税込み）

下水道管の整備や老朽化施設の更新、借入金の返済等に要する経費と財源



### 収益的収入

8億9,842万円

収益的収入は、汚水処理に係る費用として、下水道利用者から下水道使用料をいただいています。

また、近年のゲリラ豪雨などの大雨被害を軽減するための費用として、一般会計から繰入金を受けています。

当年度純損失の主な原因は、企業会計移行に伴い特例的に発生した費用によるものです。

### 収益的支出

9億664万円

収益的支出は、汚水処理に係る費用として、流域下水道維持管理負担金や雨水を排水するための雨水ポンプ場の稼働に係る費用、下水道管の修繕や浚渫などの費用となっています。

また、これまでに建設した施設の価値の減少分を減価償却費として費用計上しています。

### 資本的収入

4億101万円

資本的収入は、下水道管の整備や雨水ポンプ場の老朽化対策を実施するための財源として、社会資本整備総合交付金制度を活用して国庫補助金の交付を受けるほか、一般会計からの出資金や企業債の借入金となっています。

### 資本的支出

8億1,094万円

資本的支出は、下水道管の布設工事や雨水ポンプ場の長寿命化工事を実施した費用となっています。

また、これまでに実施した工事等のために借入した企業債の元金償還金を費用計上しています。